



## 1年間、お伝えしてきたことを振り返って…

校長 平岡 淳

この坂本中学校の校報「花の木」は、保護者の皆様だけでなく、(有)坂本ニュース販売様のご厚意により、新聞折り込みにより坂本地域の皆様にも読んでいただいております。そのおかげで、学校の様子を地域にもお伝えできることができ、ありがたく思うことと同時に、時折、校報を読まれた感想をいただけることが励みになっております。さて、令和5年度も残り1ヶ月となりました。この校報でお伝えしてきたことを振り返りながら、次年度につなげていきたいと思っております。



- (5月号) …生徒会長の入学式での挨拶「どんな活動にも活発に一生懸命取り組み、アクティブな学校を目指す」(令和5年度坂本中のスタート)
- (6月号) …自己決定を促す子供への3つの言葉かけ「どうしたの?・あなたは どうしたいの?・私に何か支援できることはある?」
- (7月号) …「自分の成長のために、仲間のために、“したいこと”より“するとよいこと”を…」(篠島での早朝ゴミ拾いボランティア)
- (8月号) …「地域や社会に貢献し、発信できる学校に…」(学校運営協議会、中高校長会の学校訪問)
- (9月号) …「当事者意識をもって、今、わたしができること~平和への願い~」(広島研修での合唱披露)
- (10月号) …「活躍する坂中生」(陸上全国大会、生徒会サミット議場提案、夏祭りボランティア)
- (11月号) …「一人でも頑張れる自分に」(後期の指針、キーワードとして)
- (12月号) …「社会で通用する力を身につける」(職場体験、職業講話、高校生出前講座、工場見学から)
- (1月号) …「ありがとう」と「あたりまえ」(あたりまえと感じていることに感謝の気持ちを…)
- (2月号) …「語彙力を身につけ、表現力を豊かに」(豊富な言葉を身につけることで、コミュニケーション能力を高める)

1年間お伝えしてきたことの柱としてきたことは、生徒にどんな力を身に付けさせたかということです。上の項目を読みながら、身に付けさせたい力の大きな柱は、「主体性」ではないかと改めて感じました。「主体性」とは、自らの意思や判断に基づいて、自らの責任のもとで行動することをいいます。学校生活の中で、仲間との協働的な活動を通して、自分の良さを発揮し、さらに一人でも頑張れる自分に成長させ、強い意志をもって自己実現をめざしていく。そんな主体性をもった人になってほしいと強く願い、このことを保護者や地域の皆様とも共有しながら、今後も地域とともに歩いていく坂本中学校を目指していきます。

3月8日に義務教育を終え、この坂本中学校を巣立ちゆく3年生に待っている社会は、常に変化し続ける世界です。その変化に対応し、ポジティブに、そしてアクティブに、自分から挑戦していったらいいと願っています。そんなことを卒業式の式辞でも触れたいと考えています。